



2006年度BCAO分科会報告会

ビジネスインパクト分科会の活動

2007年4月11日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 (BCAO)
BIA分科会

◆体 制

- アクティブメンバー：約20人
- 座長：木根原、副座長：植山、前田

◆活 動

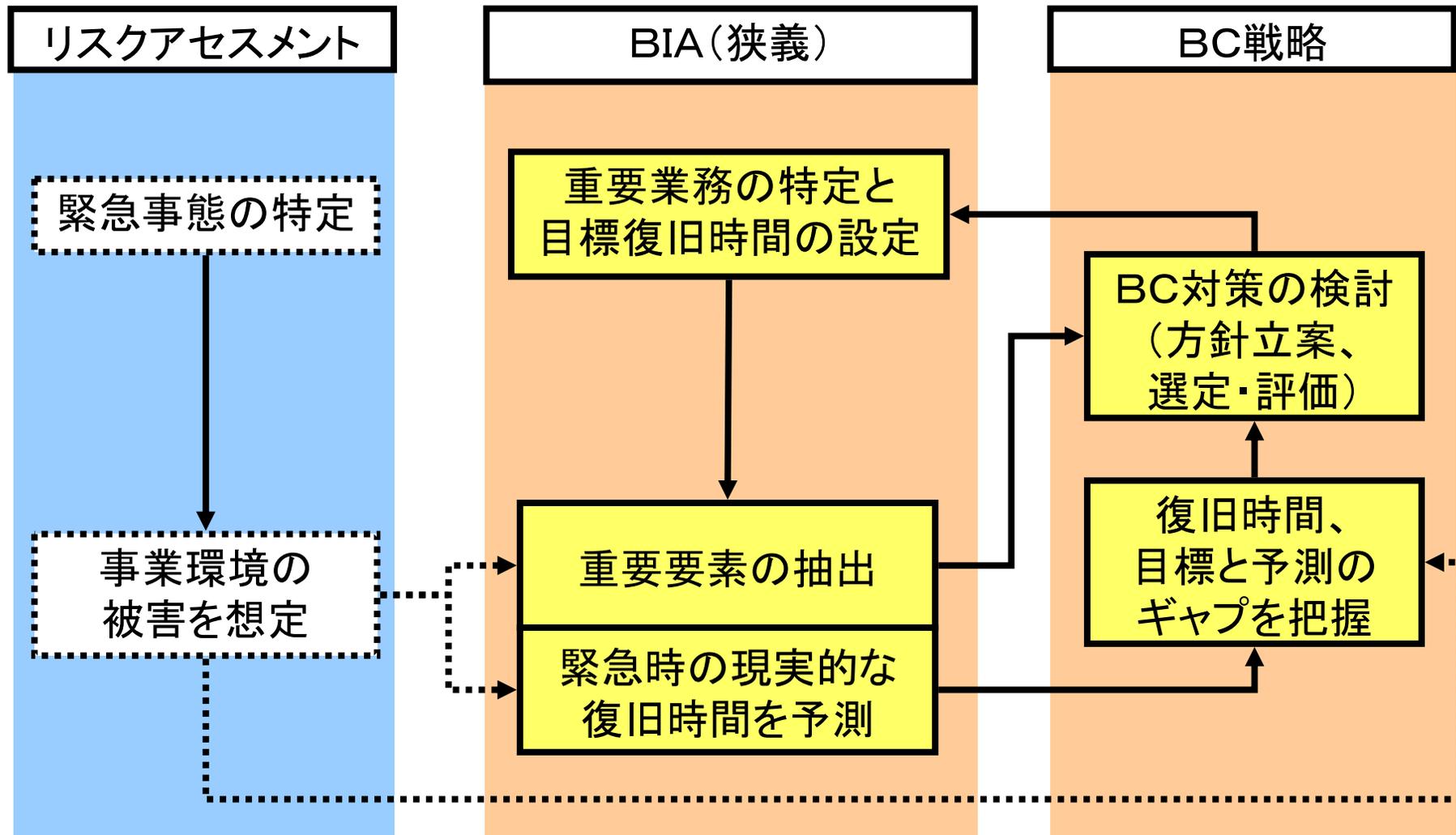
- 毎月、分科会を開催（計10回）

◆成 果

- B I Aの既存知識、メンバー間で共有
- B I Aの進め方（案）、**独自の資料**を作成〔後述〕

【注】分科会の案であり、今後BCAOとして議論が必要

分科会の検討範囲



- ◆ 重要業務：自社が**社会・市場**に何を**価値**として提供しているかを考慮し、優先的に継続（復旧）すべき業務のこと
- ◆ その特定には多面的な考察が必要

特定の視点	例
①人命にかかわる	エレベータ閉じ込め救出
②法令等遵守	法律、各種ガイドライン
③利益・売上が大きい	生産ラインの維持
④ステークホルダーへ大きな影響を与える	取引先への代金支払い
⑤会社の評判を左右	食品会社での品質維持

我が社では何が重要か。社会から何を期待されているか。



◆業務プロセスマップ・フロー図を作成するとよい

①事業を構成する業務を整理

業務A	業務B	業務C
業務H	事業	業務D
業務G	業務F	業務E

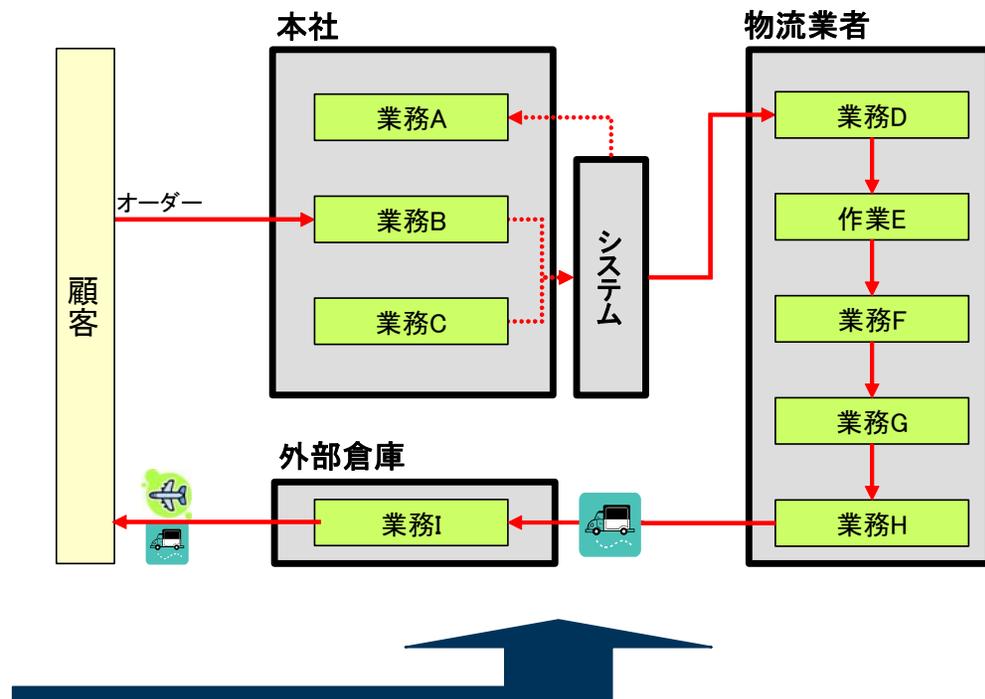


②業務毎に内容・部署等を整理

業務名称	業務概要	担当部署	関連部署	...
業務A				
業務B				
業務C				
...				

イメージ例

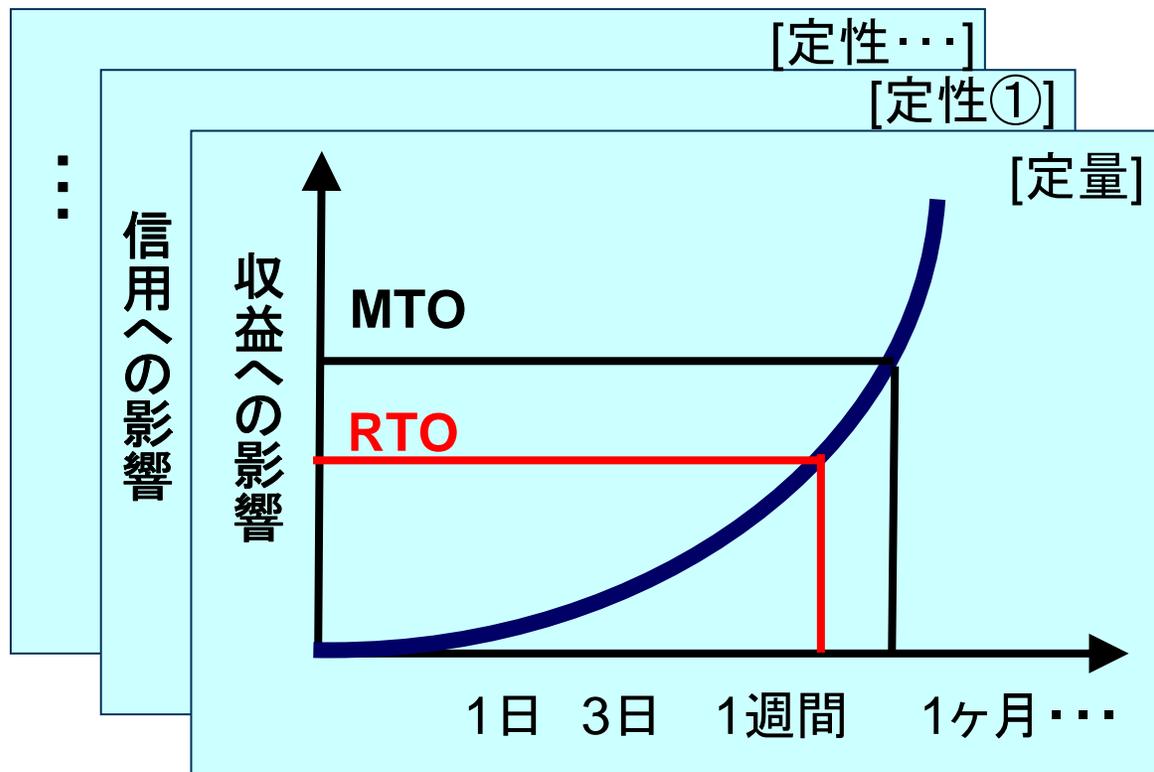
③業務フロー図を作成



目標復旧時間の設定



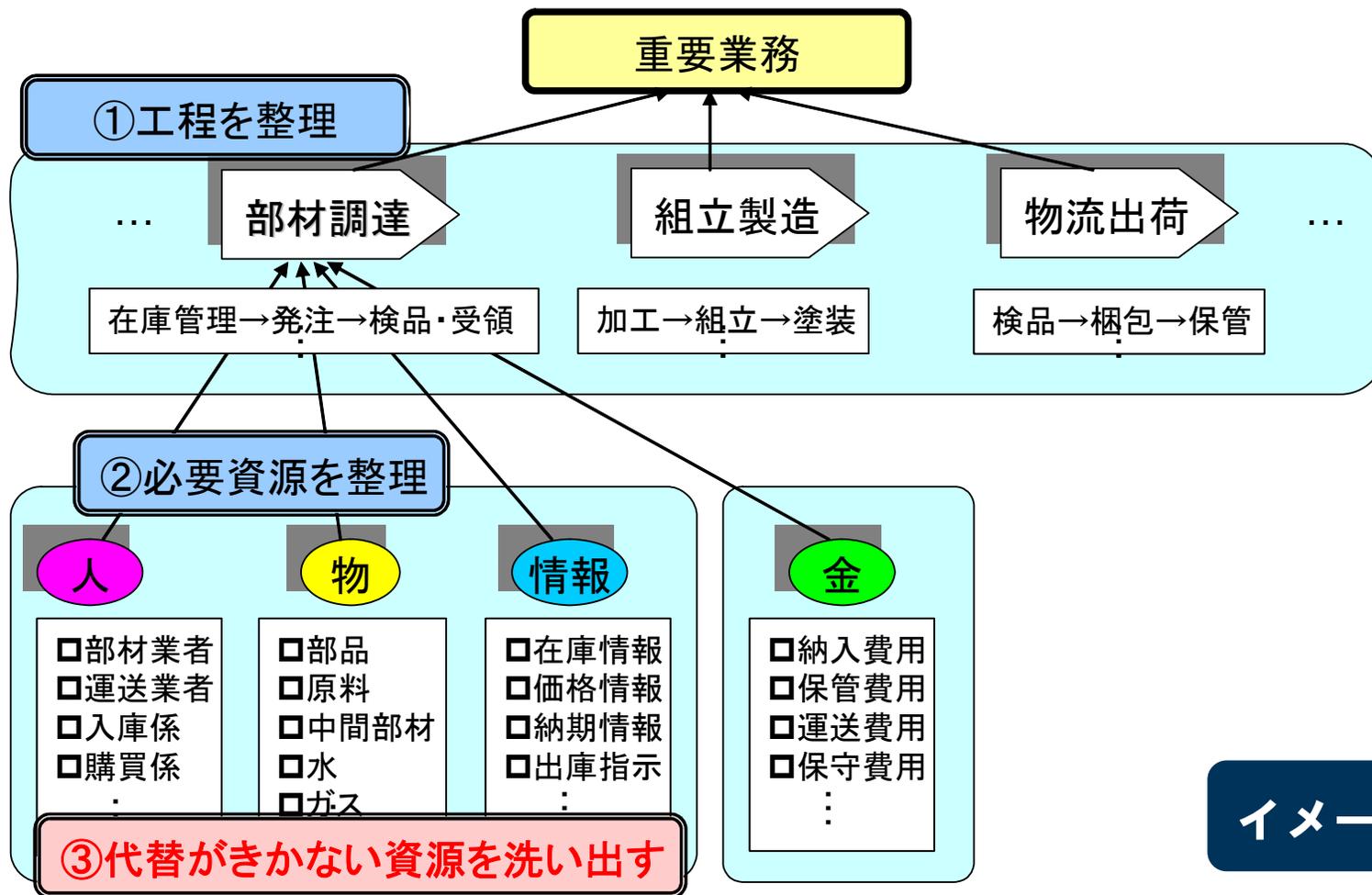
- ◆重要業務中断時の影響（リスク事象を問わない）
- ◆定量（収益）と定性（信用など多面的考察）
- ◆MTO（許容）を設定→RTO(目標)を設定



MTO:
許容中断期間
Maximum
Tolerable
Outage

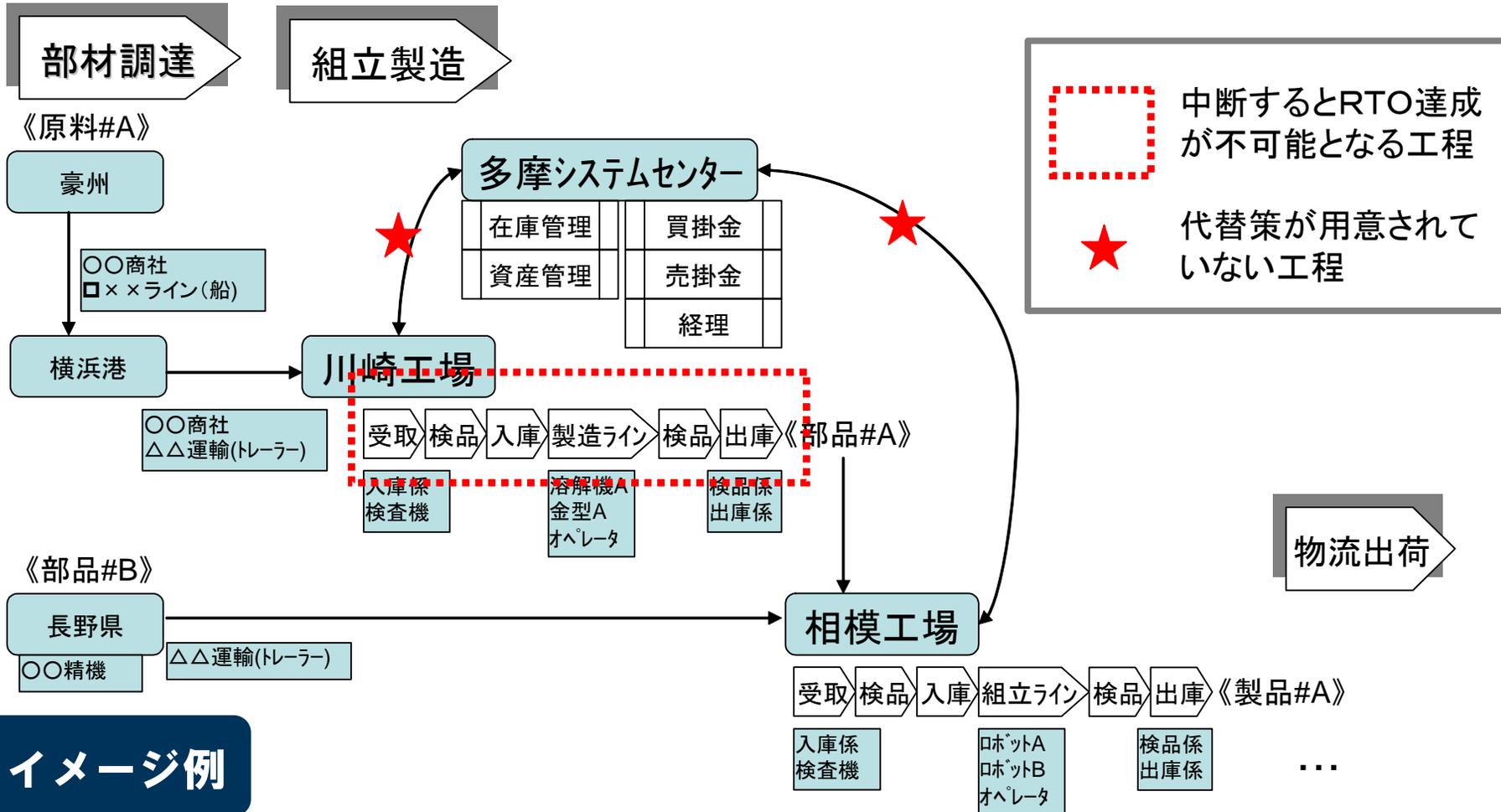
RTO:
目標復旧時間
Recovery
Time
Objective

◆RTO達成を左右する「資源」を洗い出す



イメージ例

◆RTO達成を左右する「工程」を洗い出す

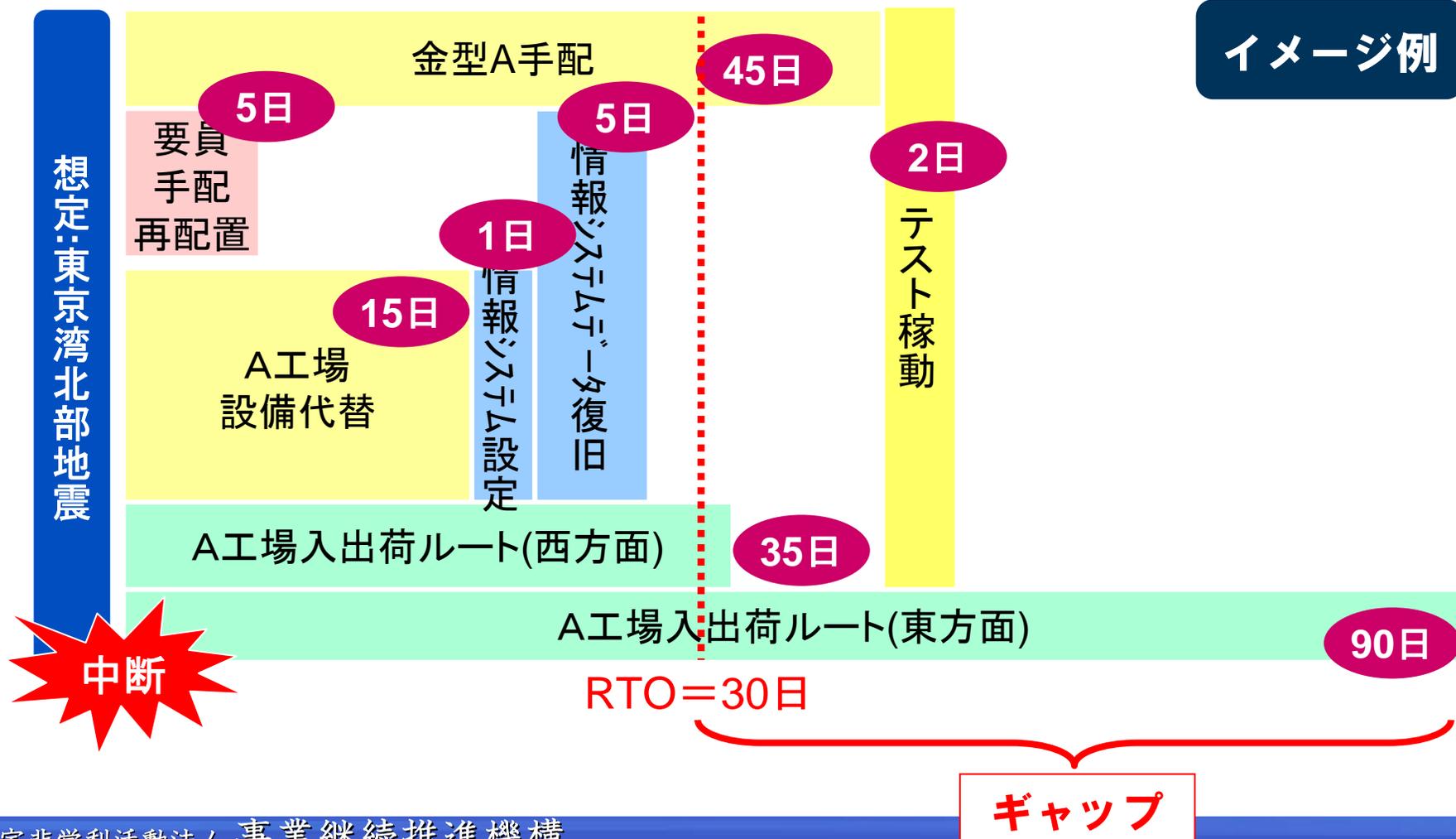


イメージ例

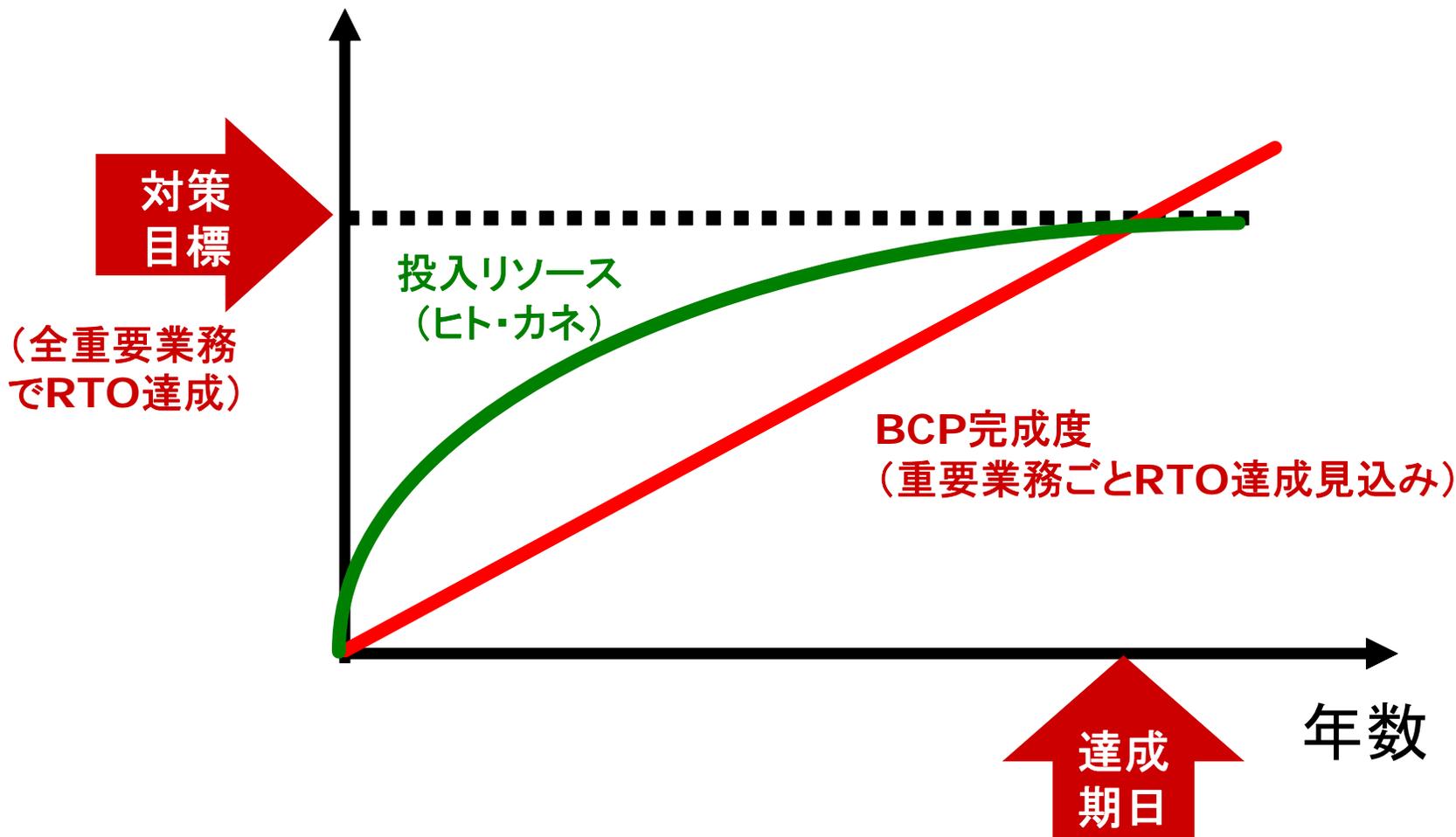
現実的な復旧時間の予測



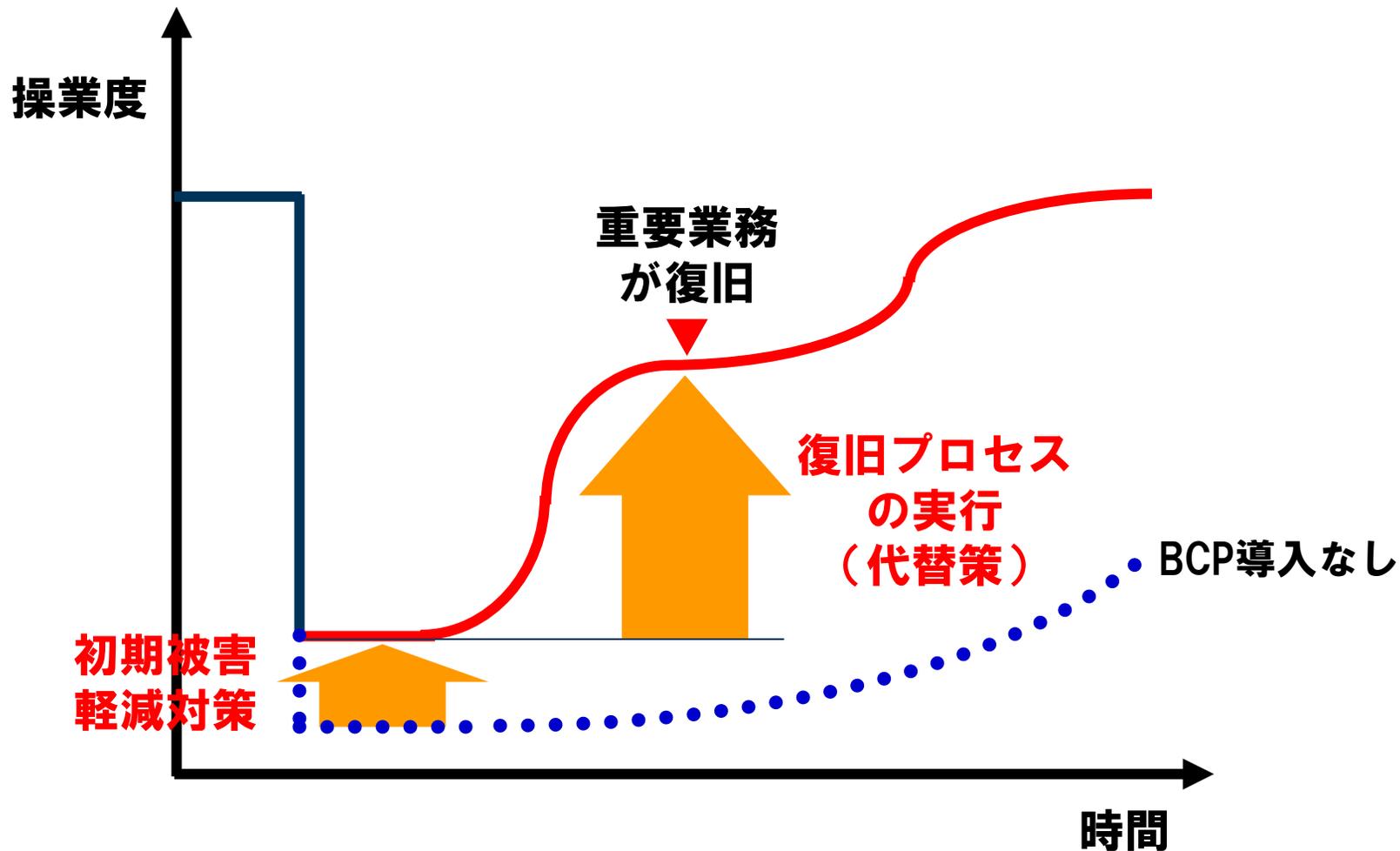
◆リスク事象毎に検討→ギャップを把握



◆中長期計画（達成期日と投入リソース）を立案

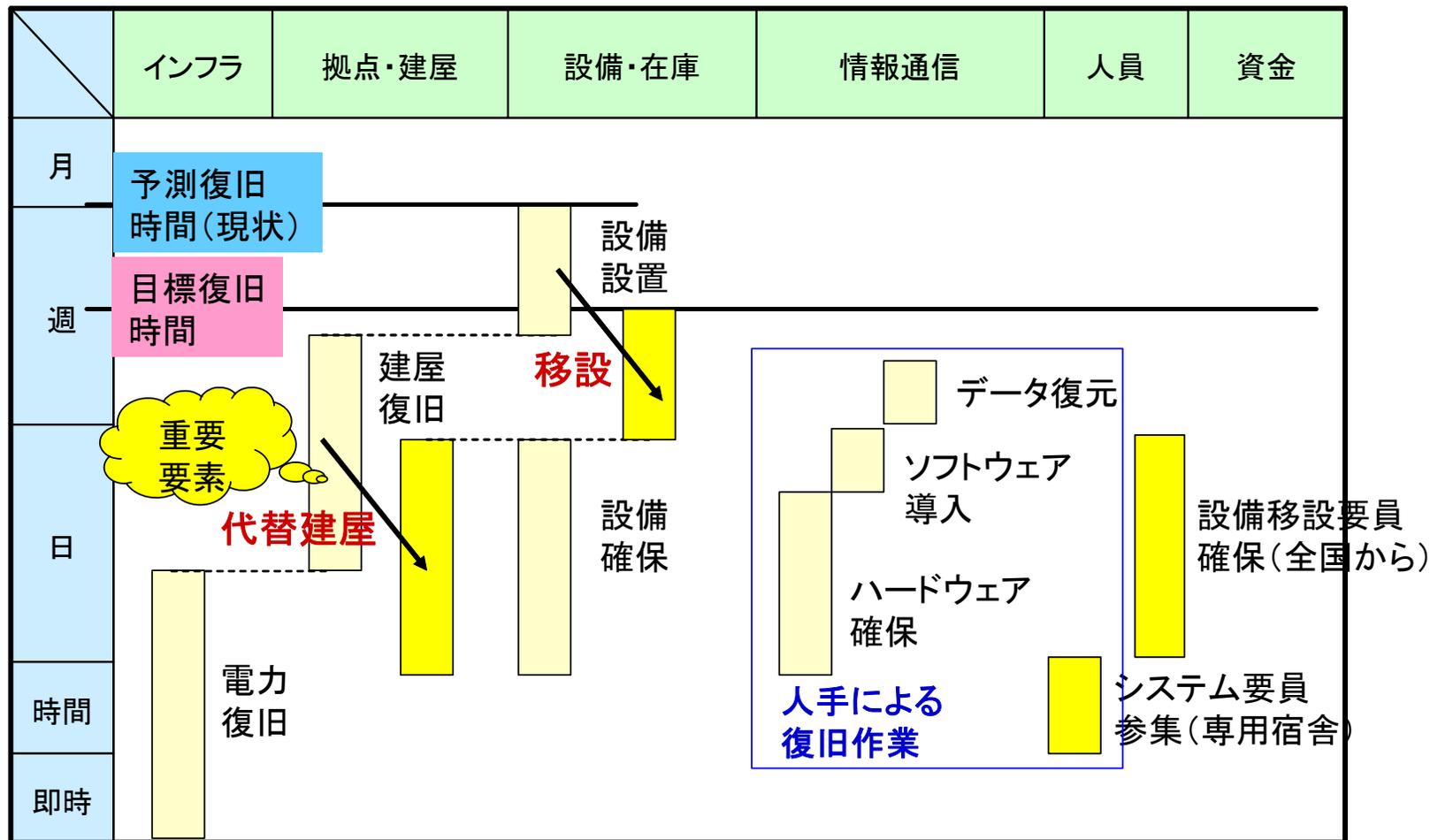


◆復旧曲線を設計する



◆復旧プロセスを立案する

イメージ例



対策案の評価



- ・人命尊重
- ・関係法令の遵守
- ・モラルの維持

区分	項目	対策内容	対策効果			制約条件		採否
			復旧時間		信頼性	社会性	費用 (百万円)	
			現	対策後				
ヒト	...							
モノ	建物	免震化	3ヶ月	0日	高	○	100	×
		耐震補強		7日	中	○	20	○
	原材料	在庫増量	15日	3日	高	○	20	×
		代替調達先の確保		7日	中	△商モラル	2	○
	出庫システム	社員による代替	15日	5日	中	×過労	0	×
		荷役会社との協定		5日	中	○	5	○
	製品搬送 (危険物)	一般車両での搬送	10日	7日	中	×違法	0	×
		運送会社との協定		7日	中	○	3	○
カネ	...							
情報	...							

イメージ例

特定非営利活動法人 事業継続推進機構



A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)

本部:

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館ビルB3階

TEL:03-5521-2235 FAX:03-5521-2236

Eメール:bc@bcao.org

ホームページ:www.bcao.org

支部:

〒553-0006

大阪府大阪市福島区吉野4丁目29番20号大阪NPOプラザ内115号

TEL:06-4804-6761 FAX:06-4804-6762